

令和8年度～令和17年度
さとうきび増産に向けた取組目標及び取組計画（3期）

石垣島

策定主体：石垣島地区さとうきび増産プロジェクト会議

地域において目指す姿

本市では、農業者の高齢化、経営耕地面積の減少、耕作放棄地や昨今の物価高騰による農業経営の悪化が顕在化しているため、それらの課題を踏まえ若手農業者などに対する農業教育や研修プログラムの提供などを通じて次世代の人材促進を図るなど、農業の魅力を感じる農業経営を地域と共に作り上げる。また、さとうきびの増産するため科学性・物理性を向上させるための土作りを行うことや、適期植付を目指しつつ、作業員の確保が難しい夏場においてはさとうきび植え付けに必要なビレットプラント等の導入による負担軽減やトラクタの自動操舵システム等スマート農業を推進し、作業の効率化・省力化を図り、持続、発展的な農業を目指す。

現在、JAの収穫作業受託を縮小する方針が示されているため、農業開発組合の機能強化を図ると同時に、地域の中核的農家を農業生産法人等へ誘導し、農業機械導入の補助事業や融資等により受委託体制の整備を図る。

また、堆肥等有機物投入による土壌物理性の確保が不十分であることから、堆肥等を活用した土づくりを推進するため、国などの補助事業を活用し、堆肥投入支援を検討することや、家畜排せつ物等のバイオマスを活用したプラント施設・機械導入等の支援に向け、みどりの食料システム戦略推進交付金のうち、持続可能エネルギー導入・環境負荷低減活動のための基盤強化対策事業の活用を目指す。

増産計画目標

(1) 生産目標

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
R6年産策定時	471	116	764	1351	7.8	5.2	5.3	6.2	36,725	6,045	40,498	83,268	
R8年産	目標	430	155	805	1,390	7.8	6.0	5.8	6.4	33,540	9,300	46,690	89,530
R9年産	目標	385	160	825	1,370	7.8	6.0	5.8	6.4	30,030	9,600	47,850	87,480
R10年産	目標	415	160	790	1,365	7.8	6.0	5.8	6.4	32,370	9,600	45,820	87,790
R17年産	目標	430	165	850	1,445	7.8	6.0	5.8	6.4	33,540	9,900	49,300	92,740

(2) 担い手育成目標

	区分	認定農業者			受託組織		大規模生産農家	
		認定農業者	受託組織	大規模生産農家	認定農業者	受託組織	大規模生産農家	
R6年度策定時		42	2	0				
R8年度	目標	43	2	2				
R9年度	目標	44	2	2				
R10年度	目標	45	2	2				
R17年度	目標	52	2	2				

(3) その他地域で独自に設定する目標

		作付面積に対する堆肥活用率 (%)	農地集約率 (% : 地域計画)	-	-
		作付面積に対する堆肥活用率 (%)	農地集約率 (% : 地域計画)	-	-
R6年度策定時		-	-	-	-
R8年度	目標	10	3	-	-
R9年度	目標	15	6	-	-
R10年度	目標	20	9	-	-
R17年度	目標	55	30	-	-

(4) 分析と評価

① 2期計画で挙げた課題

- ・生産農家の高齢化対策
- ・かんがい施設の未整備地区における干ばつ被害による単収低下
- ・土壌害虫の被害軽減を図るための防除資材導入に関する啓発普及と支援体制の確立
- ・雨天時にも稼働可能な収穫機械の導入（小型ハーベスターの導入）
- ・作型の是正による株出面積の増加に向けた啓発活動
- ・堆肥投入のための受託組織の育成

② ①で挙げた課題に対して解決に向け取り組んだ内容

- ・認定農業者、新規就農者の育成、ハーベスタなどの機械導入を進めることで高齢化（省力化）対策に努めた。
- ・土壌害虫対策薬剤への補助や野鼠駆除剤（ヤソジオン、クマリン）の一部助成（石垣島製糖株式会社、市）を実施。
- ・かんがい施設の計画的な整備を計画的に実施し、生産基盤を整備した。

③ ①で挙げた課題のうち②により解決した課題

- ・土壌害虫等による被害はあるものの薬剤助成を通じて一定の防除に繋がっている。

④ ①で挙げた課題のうち解決できなかった課題とその要因

- ・株出管理に関する講演会などを通じて啓発活動を実施しているが、株出管理に繋がっていない
- ・小型ハーベスタでは収穫面積などに対して能力不足であることから中型ハーベスタが主流となっている。雨天時の収穫については、今後も検討していく必要がある。
- ・堆肥散布には専用のトラクターやスプレッダーなどの機械が必要であり、個別農家や小規模法人では導入が困難。

⑤ 新たに生じた課題

- ・ 堆肥投入のための受託組織の育成
- ・ 悪天候による収穫遅れや、干ばつ対策、工場の老朽化による処理能力の低下、搬送能力の問題、トラッシュ率の上昇
- ・ 製糖操業期間の長期化により、次年産用の春植・株出しの生育期間の確保に影響を及ぼす。
- ・ 収入保険への加入促進（農業共済組合との定期的な情報交換）
- ・ 市街地における収穫機械による騒音・振動、粉塵や泥はね、交通への影響等の周辺環境への影響。
- ・ 地域に応じたスマート農業技術の導入可能性の検討と当該技術の普及に向けた取り組みの推進。
- ・ さとうきび植付・収穫機械導入の推進。
- ・ 土づくりに関し、全体的にコストが高くなる緑肥や堆肥を施肥する農家が少ない。
- ・ 製糖工場の老朽化に伴う新工場建替えの推進。

⑥ 令和17年産目標に向けた現状評価及び見通し

- ・ 石垣市のさとうきび生産は、農業従事者の高齢化などによる担い手不足が深刻化するなか、ハーベスタや株出管理機の導入を中心とした省力化へ向けた取組が進められている。近年では機械収穫量も9割を超え、収穫面積は概ね維持傾向となっている。
- ・ 今後は、省力化の維持のため収穫機械の計画的な更新及びスマート機器導入を実施し、オペレータ育成を引き続き図りながら植付更新や適期肥培管理及び地力の増進によりさらなる単収向上を図る必要がある。

(5) 地域重点事項（地域独自で取り組んでいる重点事項を記載）

- ・ 「さとうきびの日」関連行事（講演会など）
- ・ 沖縄さとうきび安定生産確立対策事業（収穫機械等、国機械導入採択地区に対して、県2割上乘せ補助）
- ・ さとうきび収穫機械機能向上事業（収穫機械の高性能化・長寿命化の支援）
- ・ 種苗対策事業（原原種の配布及び原種ほの設置等優良種苗の普及）
- ・ さとうきび増産体制フォローアップ事業（フォローアップ会議）

(6) 以下の項目のうち重要（特に議論すべき）と考える項目を3つ程度選択して✓を入れて下さい。

1 経営基盤の強化

- 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保
- 農業共済制度への加入促進

2 生産基盤の強化

- 気象災害に強い生産基盤の整備
- 機械化一貫体系の確立
- 地力の増進

3 技術対策

- 病虫害防除
- 台風・干ばつ対策
- 優良品種の選択・普及

4 その他（自由記述）

※✓した項目については、OPの「～～」を作成する

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

① 農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

【現状】

- ・さとうきび生産にかかる認定農業者は平成27年の130人から令和4年には191人まで増加したものの、令和6年は162人となり減少傾向にあるが、生産法人は横ばいの傾向である。また、地域の中核的農家を農業生産法人等へ誘導し、農業機械導入の補助事業などを活用し受委託体制の整備が求められている。
- ・令和7年度策定した地域計画に基づき、農業委員会、農地中間管理機構等と連携し、農地の借り手と出し手のマッチングを図り、利用集積を促進する。

<担い手育成状況> 単位：経営体

	H27	R3	R4	R5	R6
認定農業者	130	96	191	174	162
生産法人	—	—	48	49	50
作業受託組織	2	2	2	2	2

【課題】

- ・ 受託者の組織化が未整備であるとともに受託者の実態把握が十分でない。
- ・ 作業代金の決済システムに不安がある。
- ・ J A、開発組合で受託料金を値上げ改定
- ・ 基幹作業担い手の明確化を図る必要がある。
- ・ J A利用課の収穫受託作業の縮小の方針が示されており、開発組合の機能強化が急がれる。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・令和4年度にJAおきなわ、令和5年度に開発組合が価格改定を行った。
- ・沖縄さとうきび安定生産確立対策事業（収穫機械等、国機械導入採択地区に対して、県2割上乘せ補助）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・農地・経営体の現状調査と農地の利用状況、経営意向、また農家の意向を聞き取るとの協議の場を設け「地域計画」のブラッシュアップを行う。
- ・農地中間管理機構を活用し、担い手への農地貸付促進。
- ・新規就農者向け研修制度のPR強化（学校・SNS活用）を図り、担い手・労働力確保に向けた土台づくり。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・地域計画に基づき、地域の話し合いに参加し、さとうきび栽培の担い手へ円滑に引継ぐとともに、農地中間管理機構を活用したさとうきび担い手への農地の集積を図る
- ・季節労働者・移住希望者に向けた農業体験イベントの実施
- ・モデル集積地区での成功事例を他地区へ水平展開、受託組織の法人化・協業体制の構築支援など中心経営体の育成と農地集約の拡大。
- ・GPS・ドローン・センサー等のICT機器の本格導入、データに基づく施肥・収穫管理の実践と省力化などによるスマート農業の拡大導入。
- ・他の部署連携し、I・Uターンによる若年層就農者への住居提供、生活資金支援などの就農定着支援の充実を図る。

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

-

目標達成に向けた取組計画

I 経営基盤の強化

② 農業保険の加入促進

【現状】

- ・農家に共済制度が十分に浸透していない。
- ・面積が大きい農家負担掛け金の負担が大きい。
- ・保険に対する意識が低い。
- ・全相殺方式での8割補償への不満。
- ・台風や干ばつ、獣害等の災害頻度が高く、農家掛金の負担増
- ・高齢化、規模縮小により保険に対する意識低下
- ・収入保険に係る青色申告の把握

【課題】

- ・ 台風や干ばつ、獣害等の災害頻度が高く、農家掛金の負担が増加している。
- ・ イノシシ被害による単収の低下。
- ・ 高齢化、規模縮小により保険に対する意識の低下。
- ・ 8割補償への不満（全相殺方式）
- ・ 青色申告者の把握（収入保険）

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 関係機関と連携し、生産者要件審査やイベント等でのパンフレットによる周知活動による加入促進を図った。
- ・ 物価高騰重点支援地方創生臨時交付金を活用し、掛金の一部に対して助成した。
- ・ 一筆全損、春植え植替え保障の2つの特例給保障制度の周知用チラシ作成、配布
- ・ 個別訪問の実施
- ・ イノシシ対策で電気柵の貸出
- ・ 要件審査申請時に青色申告の確認

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃の実施する予定の取組を記載

- ・ 共済制度への理解を得るため、引き続き関係機関と連携し要件審査時の加入促進、さとうきび生産組合の会議等に合わせ、説明会など周知活動を実施し農業保険の周知を図る。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 高齢化による農地集約化に伴い、増加する大規模農家への農業保険の推進強化。

【自由記述欄】※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

-

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

① 気象災害に強い生産基盤の整備

【現状】

・本市は台風や干ばつの影響を受けやすく、安定した農業生産を確保するために水資源やかんがい施設、農地防風林・保安林の整備が今後も必要となる。防風林の重要性を広く伝えるため、沖縄県が開催する「防風林の日」に関連した植樹大会や、清掃活動、ポスター・チラシ掲示などを通じて普及啓発活動を実施している。また、水源不足と干ばつ被害に対応するため、ため池の維持管理やかんがい施設の導入が引き続き求められている。

<農業基盤整備の状況>

- | | |
|------------------|----------|
| (1) 赤土等流出防止施設整備率 | : 71.3% |
| (2) 防風施設整備率 | : 80.0% |
| (3) 農業集落排水施設整備率 | : 100.0% |
| (4) 水源整備率 | : 87.5% |
| (5) かんがい施設整備率 | : 64.9% |
| (6) ほ場整備率 | : 72.2% |

【課題】

- ・ 農地防風林の雑草除去を含めた防風林の維持管理が必要
- ・ かんがい施設の未整備地区における干ばつ被害による単収の低下がみられる

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 「防風林の日」などのイベントに合わせて防風林による被害軽減効果についてのPR、また、清掃ボランティアなどを通じて維持管理を実施している。（県、市）
- ・ 未整備地区への早期事業導入に向けた説明会等の実施。（市、県）
- ・ 干ばつ対策会議の設置。（市）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 未整備地区への早期事業導入に向けた説明会等の実施
- ・ かん水実証展示ほ等の設置によるかん水効果の普及
- ・ 保水資材（吸水性ポリマー資材）などの土壌改良剤の活用についての検討

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 防風林の日啓蒙活動の継続
- ・ 計画的な基盤整備の着実な推進

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

-

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

② 機械化一貫体系の確立

【現状】

- ・ 株出管理が適期に行われていない。
- ・ 降雨後の稼働可能な収穫機械が不足
- ・ 管理作業受託料金について、消費税が段階的に上がる中でも据え置きで長年課題となっていたことから、令和2年度に消費税10%込みの価格に改定した。
- ・ 燃料費、消耗品費等の高騰により、令和4年度にJAおきなわ、令和5年度に開発組合が価格改定を行った。

	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
ハーベスタ 保有台数	26	27	29	29	30	32	33	32	32	32
ハーベスタ 収穫面積	1,158	927	1,177	1,162	1,124	1,161	1,354	1,238	1,123	1,244
ハーベスタ 収穫率(面積)	87.6	84.2	82.1	83.8	86.7	86.9	89.9	88.8	90.9	92.0
機械 収穫率(面積)	87.6	84.2	82.1	83.8	86.7	86.9	89.9	88.8	90.9	92.0

【課題】

- ・地域によっては機械整備に遅れがあり、管理作業に遅れが生じている。
- ・雨天後にハーベスタ収穫原料が確保できず計画的な収穫、搬入に支障を来している。（製糖期間の長期化）
- ・農業機械のオペレータが不足しており、確保・育成が必要である。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・沖縄さとうきび安定生産確立対策事業（収穫機械等、国機械導入採択地区に対して、県2割上乘せ補助）
- ・八重山地区農業機械士協議会による安全講習会・整備講習会などを開催し、技能向上の育成を図った。

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・関係機関と連携して、作業受託体制の再構築(受託料金と収益性の検討)に向け、オペレータの育成、担い手の確保を図る。
- ・補助事業を活用し高性能農業機械（ハーベスタ等収穫機械、株出管理機、プランタ等）の計画的な導入による、全島均衡ある機械化の整備を推進する。

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・機械導入方針による計画的なハーベスタ、株出管理機、植付機などの導入（国、県、市町村）
- ・10年後に目指すべき機械配置状況及び農業機械（ハーベスター25台、トラクター12台、ロータリー7台、ビレットプランター6機、全径プランター5機、リバーシブルプラウ7機、株出管理機8機、プラソイラー1機、ブームスプレイヤー2機、ユニック車6台）
- ・担い手農家や集落営農組織と連携し、地区での一貫体系の実証を行うなど機械化モデル地区の設置。
- ・GPS自動操舵、遠隔監視、防除ドローン等の導入で省力化・精密化を推進などスマート農業技術の導入。
- ・ハーベスタ機能向上事業によるハーベスタの維持及び機能強化（県、市町村）

【自由記述欄】※例）国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

-

目標達成に向けた取組計画

2 生産基盤の強化

③ 地力の増進

【現状】

- ・堆肥等有機物の投入による土壌物理性の確保が不十分である。
- ・市補助（赤土等流出防止営農対策促進事業）により緑肥栽培を推進。
 - クロタラリア種子
 - R 3：249kg（5.8ha分）
 - R 4：929kg（18.46ha分）
 - R 5：385kg（7.64ha分）
 - R 6：772kg（15.39ha分）
 - ひまわり
 - R 4：163kg（5.41ha）
- ・島内の堆肥センターで堆肥製造を行っているが、きび畑への投入が少ない。
 - 堆肥の利用
 - R5に約1000トンの堆肥を、23戸の農家を対象に計22畝の助成事業を実施
 - R6年度に約235トンの堆肥を203戸の農家を対象に購入金額の一部を助成。

【課題】

- ・ 耕土流出による地力低下を防ぐため、赤土流出防止対策を行う必要がある。
- ・ 一部農家の意識は高いが、全体的に緑肥栽培を行う農家が少ない。
- ・ 堆肥散布機の運行が未整備である。
- ・ 耕畜連携システムの確立を図っているが、堆肥散布を希望する農家が少なく、作業受託組織の強化が進まない。
- ・ さとうきびにおける土づくり補助事業導入に際し、事業実施主体の調整が必要である。（さとうきび生産性向上緊急支援事業）

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 石垣市赤土協議会によるグリーンベルトの植付、葉ガラ梱包の設置、心土破碎、緑肥の活用などによる赤土流出防止を実施している。
- ・ J Aは白保生産組合、北部生産組合とマニユアスプレッダのリース契約を締結しており、当該地区においては堆肥散布に活用している。また、令和7年度からたい肥センターにおいて小規模ではあるが、堆肥散布を実施している。

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ グリーンベルトなどの設置による赤土流出防止対策を推進する。
- ・ 株出栽培を推進することにより赤土流出防止対策を推進する。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 緑肥栽培や、堆肥投入による土づくりを推進する。
- ・ たい肥等を活用した土づくりを推進するために補助事業の導入を目指す。
- ・ 他の有機物の利用促進について検討する。肥料・農薬使用量の低減と収量・品質の両立

【自由記述欄】※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイディア、要望等

-

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

① 病虫害防除

【現状】

- ・新防除農薬の普及により、土壌害虫の防除が飛躍的に改善され、株出不萌芽が改善され、株出面積の増加に繋がり、土地利用効率が向上した。
- ・土壌害虫対策薬剤への補助を実施している。
- ・野鼠駆除剤（ヤソジオン・クマリン）の一部補助（石垣島製糖株式会社、石垣市）を実施している。
- ・鳥獣被害防止総合対策事業を活用し、イノシシの駆除や侵入防止対策を実施している

【課題】

- ・物価高騰により農業価格が上昇し、経費負担の増加から防除の不徹底が懸念される。
- ・共同防除、一斉防除等の組織的防除体制を確立する必要がある。
- ・イネヨトウ、ツマジロクサヨトウ対策
- ・イノシシ等鳥獣被害の高止まり
- ・ワイヤーメッシュ柵について、雑草に隠れて見えない、ワイヤーメッシュのすぐ近くまで植え付けられているため刈取ができないなど、ハーベスタオペレータより苦情がある。

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金及び物価高騰重点支援地方創生臨時交付金を活用し農業用資材の助成をした。（市）
- ・イノシシ等の鳥獣被害対策についてはワイヤーメッシュ資材、鳥のくちばし買取等の助成を実施している（市、県）

【計画】

<短期計画> ※今年度か来年度頃を実施する予定の取組を記載

- ・土壌害虫対策薬剤や野鼠駆除剤の補助の継続。
- ・ワイヤーメッシュやくちばし買取など有害鳥獣の駆除に関する事業の継続。
- ・防除効果を高めるため薬剤による適期防除を推進する。
- ・病虫害防除協議会による、一斉防除の周知徹底を図り、共同購入による薬剤単価の軽減を図る。

<中・長期的な計画> ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・健全無病苗の利用及び種苗の更新を計画的に実施する。
- ・ICT等を活用した有害鳥獣被害防止対策の検証・普及を行う。
- ・化学・耕種・生物的手法を融合した持続可能な管理体制を推進し、持続的なIPM（総合的病虫害管理）体系の確立を図る。

【自由記述欄】※例) 国補正事業（生産対策）のメニュー拡充のアイデア、要望等

-

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

② 台風・干ばつ対策

【現状】

1. 台風時の対策

・防風林・防潮林の整備と管理

防風林の整備・維持管理は台風時の風害や潮害（塩害）からさとうきびを守る最優先策であることから、毎年11月の「防風林の日」等のイベントを通じて周知・普及活動を行っている。

・排水路の整備と点検

強風・大雨時の冠水や根腐れを防ぐため、定期的には場と周辺の排水路の点検・整備を行っている。

・台風の耐性に強い品種の導入

風折抵抗性・潮風害からの回復力の高いさとうきび品種を導入・推奨している。

・台風後の迅速な補植と被害回復

倒伏や欠株箇所には速やかに補植対応し、畑ごとの被害状況に応じて必要な農薬散布や除塩措置を行っている。

2. 干ばつ対策

・干ばつ耐性品種の導入

干ばつに強いさとうきび品種の積極的な導入を推進。

・適切なタイミングでのかん水実施

生育時期（特に6月～9月）には、土壌水分に注意し必要なタイミングでかん水を行い、初期成育不良・減収を防いでいる。

・石垣市干ばつ対策会議の設置

干ばつの発生による農業生産への被害を軽減し、農業再生産の確保及び経営の安定を図るため、干ばつ時の対策を円滑に進めるために関係機関と連携を図る。

【課題】

- ・ 農地防風林の雑草除去を含めた防風林の維持管理が必要
- ・ 生育時期の適宜かん水の周知

【課題に対応した取組及びその実施者】

- ・ 「防風林の日」、「さとうきびの日」などのイベントに合わせて防風林による被害軽減効果についてのPR、また、清掃ボランティアなどを通じて維持管理を実施している。（県、市）

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

- ・ 適宜適作に向けた栽培ごよみによる啓発・普及
- ・ 省力性や、気候変動対応力の観点から株出し栽培への転換を推進。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

- ・ 品種多様化、干ばつや台風等気候リスクに強い品種の普及拡大
- ・ 機械導入・スマート農業推進による省力化・効率化
- ・ 担い手確保と法人化・農業組織化支援

【自由記述欄】※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア、要望等

-

目標達成に向けた取組計画

3 技術対策

③ 優良品種の選択・普及

【現状】

- ・ 優良品種の普及について、早生、晩生品種の組み合わせによる平準化や、一定の品種のみに偏らないように2品種以上の栽培によるリスク分散の啓発を図る。
- ・ 引き続き、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構よりさとうきび原原種を県を通じて受け入れ、採苗ほ（開発組合に委託）から生産された採苗ほを農家に無料で配布する。
- ・ 採苗ほ場の地力の増進、良質な苗の育成を図るため、農業開発組合の採苗ほに対し、堆肥の活用を推進する。

<品種構成の変遷>

単位：%

	Ni15	NiF8	Ni9	Ni27	Ni22	NiH25	Ni21
H22年産	54.3	14.7	1.7	—	—	—	—
H26年産	18.9	4.9	—	28.0	19.6	18.1	6.4

	Ni15	NiF8	Ni9	Ni27	Ni22	NiH25	Ni21
H29年産	1.4	3.3	4.8	22.1	17.2	48.1	3.2
H30年産	—	3.8	8.3	25.2	19.5	40.1	2.3
R元年産	—	4.3	8.4	36.5	21.2	26.8	2.7
R2年産	—	2.1	1.8	43.5	23.8	19.7	1.7
R3年産	—	1.3	1.8	45.2	23.7	19.5	1.9
R4年産	—	1.5	1.2	45.4	22.5	20.5	1.9
R5年産	0.1	1.2	1	47.4	21.4	22.4	0.9
R6年産	—	0.9	1.8	45.9	19.1	26.8	1.3

【課題】

・土壌特性に合った品種を選択し、製糖期間を通じて高品質な品種について経営規模に対応できるよう品種の平準化が必要である。

【課題に対応した取組及びその実施者】

・沖縄県さとうきび優良種苗安定確保事業を活用し、さとうきび生産の安定、品質向上、新品种の普及促進に努めている。

【計画】

＜短期計画＞ ※今年度か来年度頃に実施する予定の取組を記載

・品種導入成功事例などのモデル農家を育成し、共有する。
・品種に対する理解を共有するため、栽培講習会を実施する。

＜中・長期的な計画＞ ※3～5年後、又は目標年度を見据えて実施すべき取組を記載

・各地域独自の品種の選抜、育種など地域に合った品種の育成。

【自由記述欄】 ※例) 国補正事業(生産対策)のメニュー拡充のアイデア要望等

-

重点課題における関係者の役割分担と実施状況

※令和7年度に3期目計画を立てる際は、右側の「今年度の具体的な取組計画」のみ記入。

重点項目：農地の利用集積、効率的なさとうきび経営の育成と労働力の確保

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
石垣市農林水産商工部農政経済課					<ul style="list-style-type: none"> ・農地集積の推進 ・担い手支援 ・受託組織形成の促進 ・共済加入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・さとうきび面積の維持と担い手の支援
沖縄県農林水産部 八重山農林水産振興センター（スタッフ・農業改良普及課）					<ul style="list-style-type: none"> ・担い手育成 ・経営安定化支援 ・栽培技術の指導 ・共済加入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者の増加と経営体の育成
JAおきなわ八重山地区営農振興センター					<ul style="list-style-type: none"> ・生産者の組織化 ・農作業受託の強化 ・機械化推進 ・融資等資金支援 ・共済加入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託組織の増加
石垣島製糖株式会社					<ul style="list-style-type: none"> ・原料の確保 ・共済加入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・労働力の確保
八重山地区さとうきび生産振興協議会					<ul style="list-style-type: none"> ・地域体制の強化 ・連携の推進 ・生産計画作成の支援 ・共済加入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関連携の強化
石垣市さとうきび生産組合					<ul style="list-style-type: none"> ・栽培講習会の実施 ・さとうきびの品質向上 ・共済加入の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術力の向上、反収増加
沖縄県農業共済組合（八重山支所）					<ul style="list-style-type: none"> ・共済加入率の促進に係る事項 ・病害虫被害耕地への対応のPR 	<ul style="list-style-type: none"> ・共済加入率の増加

重点項目： 地力の増進

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
石垣市農林水産商工部農政経済課					・土づくりに係る支援 ・たい肥の利活用促進	・有機質材の活用促進及び土づくり支援
沖縄県農林水産部 八重山農林水産振興センター（スタッフ・農業改良普及課）					・土壌診断 ・分析 ・技術指導 ・土づくり協議会の開催	・地力向上指導
JAおきなわ八重山地区営農振興センター					・有機質資材の供給 ・施肥管理指導	・堆肥の利用拡大
石垣島製糖株式会社					・副産物（フィルターケーキ等）の再利用	・副産物の再利用
八重山地区さとうきび生産振興協議会					・地力向上活動の調整 ・普及啓発	・地力向上活動の展開と意識啓発
石垣市さとうきび生産組合					・緑肥、堆肥の導入 ・輪作体系の確立 ・耕種管理	・堆肥施用の実践及び土づくりの定着

重点項目：病虫害防除

機関名	前年度の取組について			取組の反省点・改善すべき点	今年度の具体的な取組計画	
	具体的な取組内容	設定した目標	自己評価		具体的な取組内容	設定する目標
石垣市農林水産商工部農政経済課					<ul style="list-style-type: none"> 防除資材購入支援 予算支援 体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> 防除体制の整備及び発生時の対応力の強化
沖縄県農林水産部 八重山農林水産振興センター（スタッフ・農業改良普及課）					<ul style="list-style-type: none"> 発生予察 防除技術指導 情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 発生予察の徹底と技術指導の強化
JAおきなわ八重山地区営農振興センター					<ul style="list-style-type: none"> 防除講習会 散布に係る支援 	<ul style="list-style-type: none"> 適宜防除の徹底と薬剤使用の適正化
石垣島製糖株式会社					<ul style="list-style-type: none"> 被害情報の共有 警戒体制の確立 	<ul style="list-style-type: none"> 被害情報の共有と迅速対応の実施
八重山地区さとうきび生産振興協議会					<ul style="list-style-type: none"> 防除活動の調整 普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 共同防除の実践と早期発見の徹底
石垣市さとうきび生産組合					<ul style="list-style-type: none"> 共同防除の実践 早期発見 	<ul style="list-style-type: none"> 共同防除の実践と早期発見の徹底

さとうきび関係事業の活用実績（R7年度～）

【国補正事業（生産対策）】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-
-	-	-	-	-

【セーフティネット事業】

事業年度	取組内容	計画額	うち補助金	実績額
R7年度.5月・6月	【個別対策】令和7/8年産収穫予定夏植・春植・株出に対する農薬の助成	76,470,286	46,334,000	32,266,000
R7年度.12月	【共通対策】株出管理委託作業(※収穫後初株出し対象)	15,345,000	9,300,000	-

【実証・研究事業（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	取組内容	総事業費	補助金	その他
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【機械導入（国事業・県事業）】

事業年度	事業名	導入機械	総事業費	補助金	その他
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-

【市町村単独事業】

事業年度	市町村名	事業名	取組内容	予算額	実績額
R7年度	石垣市	病虫害防除資材購入補助事業	野ソ防除に係る資材購入費の一部助成	966,000	-
-	-	-	-	-	-

(参考情報①)

1. 県(島)の概況、農業・さとうきび作の位置づけ等

本市は年間平均気温は約24℃、降水量は約2,000mmと高温多湿の亜熱帯性気候に属し、さとうきびの生育に適している気象条件により、古くから基幹作物として栽培されている。また、市内の総面積は約229km²で、そのうち耕地面積は約5,300haを占め、主な農業生産は、さとうきびを中心に、野菜・果樹・肉用牛・畜産など多様な複合経営が行われている。
本市のさとうきび産業は石垣市の耕種作物のうち、約35～40%を占めるなど地域経済の基盤を支える重要な産業であり中心的な位置づけにある。

2. さとうきび生産の現状

生産の現状

石垣市においては、近年、生産者の高齢化や兼業化が進み、これに伴って農作業の受委託体制の再構築が求められている。生産現場では機械収穫が定着し、効率的な収穫が行われているものの、未だ収穫機械が不足している地区や老朽化による更新の必要性などの課題解決が求められている。
作型の傾向としては、株出栽培の割合が年々増加し、従来主流であった夏植えや春植えの作付が減少している。これは、夏場の過酷な労働環境や人手不足などにより、植え付け作業を行う生産者が減少していることが背景にある。また、近年は干ばつや台風などの気象要因、土壌害虫の被害といった自然条件の影響も受けており、土地条件によっては収量の伸び悩みが見られる。特に、灌漑施設の整備が十分でない地域では、降雨不足により生育が抑制されるなど、生産安定化に向けた基盤整備が課題となっている。こうした状況を踏まえ、市や関係機関では、堆肥や緑肥の積極的な活用による地力増進に向けて構築連携を通じた持続的な土づくり体制構築を目指している。

【近年の作物別作付面積の動向】

(1) 作物別作付け面積の動向

	耕地面積	作付面積	耕作放棄地	さとうきび	かんしょ	水稻	野菜	飼料作物	その他
H17	5,400	3,637	-	1,320	-	-	35	1,439	-
H18	5,400	3,592	-	1,260	-	-	80	1,441	-
H19	5,400	3,510	-	1,132	-	-	81	1,467	-
H20	5,400	3,525	-	1,086	-	-	100	1,511	-
H21	5,400	3,569	-	1,168	-	-	89	1,550	-
H22	5,400	3,546	-	1,184	-	-	97	1,513	-
H23	5,400	3,563	-	1,212	-	-	81	1,523	-
H24	5,400	3,707	-	1,318	-	-	89	1,552	-
H25	5,400	3,721	-	1,306	-	-	115	1,514	-
H26	5,400	3,809	-	1,326	-	-	89	1,532	-
H27	5,400	3,810	-	1,466	-	-	90	1,532	-
H28	5,400	3,810	-	1,101	-	-	90	1,530	-
H29	5,400	3,810	-	1,434	-	-	91	1,530	-
H30	5,400	3,810	-	1,387	-	-	91	1,530	-
R元	5,400	3,810	-	1,296	-	-	93	1,530	-
R2	5,300	-	-	1,336	-	-	73	2,042	-
R3	5,300	-	-	1,506	-	-	68	2,026	-
R4	-	-	-	1,394	-	-	70	1,998	-
R5	-	-	331	1,235	-	-	-	-	-
R6	5,300	-	192	1,351	-	331	-	2,067	-

(2) さとうきびの収穫面積、単収、生産量、糖度の推移

	収穫面積 (ha)				単収 (t/10a)				生産量 (t)				糖度
	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	夏植	春植	株出	合計	
H17	830	159	240	1,229	61.9	41.5	36.4	54.2	51,356	6,615	8,743	66,714	13.6
H18	948	119	193	1,260	59.2	41.8	40.0	54.6	56,118	4,973	7,743	68,834	14.7
H19	854	112	166	1,132	77.7	52.7	48.7	71.0	66,390	5,917	8,076	80,383	13.6
H20	816	112	158	1,086	68.6	47.3	48.7	63.5	56,018	5,302	7,676	68,996	15.1
H21	861	129	177	1,167	90.6	60.4	58.7	82.4	78,008	7,802	10,373	96,183	15.3
H22	820	161	203	1,184	80.9	57.6	50.6	72.5	66,307	9,293	10,297	85,897	13.4
H23	818	165	229	1,212	57.3	53.8	50.1	55.5	46,897	8,872	11,490	67,259	13.9
H24	769	185	365	1,319	57.3	44.4	42.7	51.5	44,075	8,222	15,566	67,863	14.6
H25	734	149	423	1,306	68.5	36.4	37.4	54.7	50,231	5,436	15,815	71,482	14.7
H26	676	210	440	1,326	70.3	55.4	47.7	60.5	47,543	11,638	20,982	80,163	14.5
H27	685	154	628	1,467	68.2	41.8	37.5	52.3	46,652	64,205	23,551	76,623	12.4
H28	515	137	449	1,101	80.9	67.0	58.3	70.0	41,642	91,802	26,190	77,012	14.4
H29	722	151	561	1,434	81.3	62.1	61.0	71.2	58,659	93,845	33,997	102,041	13.9
H30	480	176	731	1,387	84.8	55.4	54.3	65.0	40,662	97,713	39,667	90,100	14.2
R元	494	135	667	1,296	65.8	46.6	42.4	51.8	32,537	6,279	28,286	67,102	14.7
R2	487	202	647	1,336	78.1	58.5	55.3	54.1	38,039	11,830	35,789	85,658	14.5
R3	479	198	829	1,506	80.0	61.0	59.0	66.0	38,250	12,089	49,191	99,530	14.1
R4	390	146	856	1,392	66.0	37.0	38.0	46.0	25,886	5,489	33,189	64,564	13.1
R5	346	198	690	1,234	67.8	54.4	49.1	55.2	23,491	10,782	33,891	68,164	13.9
R6	471	116	764	1,351	77.8	52.1	53.1	61.6	36,725	6,045	40,498	83,268	13.2

(参考情報②)

【年齢階層別農家戸数】

	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
H17	—	—	—	—	—	—	0
H18	—	—	—	—	—	—	0
H19	26	70	169	319	498	—	1082
H20	20	73	157	303	480	—	1033
H21	16	93	171	355	598	—	1233
H22	11	77	145	305	572	—	1110
H23	15	81	137	320	605	—	1158
H24	20	109	157	348	741	—	1375
H25	14	86	122	298	681	—	1201
H26	13	75	113	272	696	—	1169
H27	0	24	113	201	380	1087	1805
H28	0	28	117	205	384	1065	1799
H29	1	36	124	207	396	1059	1823
H30	3	42	125	205	395	1006	1776
R元	3	37	107	188	380	878	1593
R2	7	50	114	175	330	751	1427
R3	19	53	115	177	329	695	1388
R4	22	59	126	180	334	676	1397
R5	8	60	125	180	334	646	1353
R6	7	62	127	188	325	583	1292

【経営（収穫）規模別農家戸数】

	100a未満	100～300a 未満	300～500a 未満	500a以上	合計
H17	978	399	39	16	1432
H18	1004	360	55	17	1436
H19	826	361	37	18	1242
H20	848	330	55	17	1250
H21	844	329	55	17	1245
H22	755	273	55	17	1100
H23	795	317	55	17	1184
H24	757	403	51	19	1230
H25	763	398	49	21	1231
H26	730	392	49	21	1192
H27	763	398	49	21	1231
H28	666	331	29	15	1041
H29	666	331	29	15	1041
H30	666	331	29	15	1041
R元	666	354	29	15	1064
R2	593	688	56	25	1362
R3	587	405	71	26	1089
R4	564	392	58	26	1040
R5	554	352	45	23	974
R6	486	375	62	26	949

【製糖工場の操業状況】

	操業率 (%)	操業期間 (日)	歩留 (%)	トラッシュ率 (%)
H17	66.71	102	11.44	10.42
H18	68.83	95	12.26	13.88
H19	80.38	105	11.50	11.54
H20	69.00	86	13.20	10.43
H21	96.18	131	12.64	11.77
H22	85.90	119	11.50	5.43
H23	67.26	94	11.93	12.32
H24	67.86	103	12.43	12.91
H25	71.48	98	12.21	12.64
H26	80.16	127	11.71	12.75
H27	76.62	157	9.24	12.50
H28	77.01	111	11.37	12.31
H29	102.0	151	10.81	11.75
H30	90.10	173	11.13	16.03
R元	67.10	130	12.15	16.55
R2	85.65	135	12.26	16.69
R3	99.53	205	11.04	16.12
R4	64.55	130	10.28	16.16
R5	68.16	114	11.21	16.28
R6	83.27	168	10.40	17.24

(参考情報③)

【作業受託組織の状況】

	農作業受託組織数			農作業受託調整組織の有無と役割		
	合計	組織	個人	有無	名称	役割
R7	2	2	-	有	○(一財)石垣市農魚う開発組合 ○沖縄県のうぎょう協同組合	オペレータ、機械、作業日程の マッチング。 生産者から受託組織への申込窓 口代行。 作業委託料の收受業務の受託。

【作業委託料金】

作業名	料金	料金の設定方法及び島内の料金体系	備考
収穫	4,200/t	-	全て税込
植付	24,200/t	-	
株出管理	3,850円/10a	-	
防除	1,650/10a	-	
その他	0	-	

(参考情報④)

【畑地かんがいの整備状況】

	貯水施設		畑地かんがい 整備率	かん水方法			畑地かんがい整備の現状と 整備率向上に向けた今後の取組
				形態	使用料金	使用条件等	
R7	地下ダム	-	-	I型 II型 III型	・メーター式 基本料機+使用量 ((面積×2,500円 /10a) +使用量×5 円/†) ・面積割式 面積×4,900/10a ・III型式 50円/†	I、II型について は、メーター、面積 割式の2パターン。 III型は、コイン投入 方式	-
	ダム	-	-				
	ため池	-	-				
	その他	-	-				

(参考情報⑤)

【共済加入目標】

	H26	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	1,183	970	970	970	970	970	970
加入戸数	332	284	290	447	447	469	485
戸数引受率	28.1%	29.3%	29.9%	46.1%	46.1%	48.4%	50.0%
対象面積(ha)	1,326	1,235	1,235	1,235	1,235	1,235	1,235
引受面積(ha)	422	413	405	569	569	597	617
面積引受率	31.8%	33.5%	32.8%	46.1%	46.1%	48.4%	50.0%
支払金額(千円)	8,465	6,376	-	-	-	-	-

【収入保険制度への加入目標】

	H30	R6	R7	R8	R9	R12	R17
有資格戸数	1,117	970	970	970	970	970	970
加入戸数	4	10	11	13	15	17	20
引受面積(ha)	11.66	43.62	28.89	50	70	100	124
面積加入率	0.8%	3.5%	2.3%	4.0%	5.7%	8.1%	10.0%

(参考情報⑥)

【作型別割合】

	夏植	春植	株出し
H17	68%	13%	20%
H18	75%	9%	15%
H19	75%	10%	15%
H20	75%	10%	15%
H21	74%	11%	15%
H22	69%	14%	17%
H23	-	-	-
H24	58%	14%	28%
H25	56%	11%	32%
H26	51%	16%	33%
H27	47%	10%	43%
H28	54%	12%	34%
H29	58%	9%	33%
H30	45%	11%	44%
R元	38%	10%	51%
R2	37%	15%	48%
R3	32%	13%	55%
R4	28%	11%	62%
R5	28%	16%	56%
R6	35%	9%	57%
R17(目標)	30%	11%	59%

【株出し回数別面積】

	株出し回数別面積 (ha)							
	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	平均回数
H17	-	-	-	-	-	-	-	-
H18	-	-	-	-	-	-	-	-
H19	-	-	-	-	-	-	-	-
H20	-	-	-	-	-	-	-	-
H21	-	-	-	-	-	-	-	-
H22	-	-	-	-	-	-	-	-
H23	-	-	-	-	-	-	-	-
H24	-	-	-	-	-	-	-	-
H25	423	0	0	0	0	0	0	1.00
H26	440	0	0	0	0	0	0	1.00
H27	628	0	0	0	0	0	0	1.00
H28	449	0	0	0	0	0	0	1.00
H29	561	0	0	0	0	0	0	1.00
H30	731	0	0	0	0	0	0	1.00
R元	434	164	40	21	7	1	1	1.52
R2	456	125	41	13	9	2	1	1.46
R3	579	172	49	21	4	2	3	1.45
R4	579	172	49	21	3.7	2.2	2.5	1.45
R5	395	174	85	26	6.6	2	2	1.68
R6	435	211	72	28	11	2.8	3.4	1.68
R17	509	170	56	22	7	2	2.5	1.52

(参考情報⑦)

【近年の品種別作付面積の推移】

作型	夏植						春植						株出し						合計					
	Ni27	NiH25	Ni22	RK97 -14	Ni28	その他	Ni27	NiH25	Ni22	RK97 -14	Ni28	その他	Ni27	NiH25	Ni22	RK97 -14	Ni28	その他	Ni27	NiH25	Ni22	RK97 -14	Ni28	その他
H17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
H25	88	52	129	0	0	465	66	11	20	0	0	52	127	11	79	0	0	206	281	74	228	0	0	723
H26	137	132	135	0	0	272	102	58	22	0	0	28	133	50	103	0	0	154	372	240	260	0	0	454
H27	165	243	128	0	0	149	45	67	31	0	0	11	208	139	128	0	0	153	418	449	287	0	0	313
H28	106	225	105	0	0	79	24	74	19	0	0	20	134	163	92	0	0	60	264	462	216	0	0	159
H29	143	352	141	15	6	65	37	72	23	6	2	11	6	235	104	5	0	211	186	659	268	26	8	287
H30	112	179	105	16	8	60	70	38	40	11	2	15	185	324	142	15	11	54	367	541	287	42	21	129
R元	186	102	128	9	24	46	64	24	26	5	6	10	203	230	141	19	11	63	453	356	295	33	41	119
R2	203	94	134	10	8	38	109	41	33	11	2	6	270	128	152	17	30	50	582	263	319	38	40	94
R3	197	109	131	12	9	21	101	37	30	15	2	13	386	148	197	23	22	53	684	294	358	50	33	87
R4	155	87	107	8	3	31	80	37	18	5		6	398	162	189	36	20	52	633	286	314	49	23	89
R5	155	85	91	5	3	7	105	51	27	10	1	4	324	140	146	20	12	49	584	276	264	35	16	60
R6	197	145	19.6	9	0.4	100	55	39	16	2	2	2	370	179	150	19	10	35	622	363	186	30	12	137